

平成30年度京都大学フィールド科学教育研究センター
公開実習（森里海連環学実習 I）
実施要項

1. 授業科目：

〔森里海連環学実習 I〕

実習の履修後に受講証を発行する。受講証にもとづく単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること。なお、本実習は2単位相当としている。実習は本学学部生と合同で行い、実習期間中は本学フィールド科学教育研究センター芦生研究林および舞鶴水産実験所の宿泊施設に合宿する。実習の詳細については次頁「10. 実習内容」を参照すること。

指導教員：山下 洋・徳地直子・益田玲爾・伊勢武史・坂野上なお・中西麻美・甲斐嘉晃・
鈴木啓太・中川 光・澤田英樹

2. 実施施設：京都大学フィールド科学教育研究センター 芦生研究林・舞鶴水産実験所

3. 実施期間：平成30年8月5日(日)～8月9日(木)

※ 京都大学北部構内にて集合・解散の予定。芦生研究林・舞鶴水産実験所への移動には公用車（バス）を利用する。

4. 対象学生：学部生全年次。（文系・理系を問わない）

5. 定員：10名

6. 必要提出書類：

- ・受講願
- ・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険証明書（領収書等のコピーでも可）

7. 申込締切：平成30年6月29日(金)必着

先着順で申込を受け付け、定員に達した時点で締め切りとする。

8. 参加費用：約 10,000 円（これに含まれるのは宿泊費、食費などの実費のみ）

9. 提出・問い合わせ先：

〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

電話：0773-62-5512 FAX：0773-62-5513

E-mail：maizuru@adm.kais.kyoto-u.ac.jp

※ 実習への参加を希望される方はメール (maizuru@adm.kais.kyoto-u.ac.jp) にて早めに受講の意思を連絡し、担当職員から必要書類を受け取ること。また、必要書類の提出の際には、封筒の表に「森里海連環学実習 参加申込書類在中」と朱書きして郵送すること。

10. 実習内容：

京都府の北部を流れる由良川は、京都大学芦生研究林を源流とし丹波地方を流れ若狭湾西部の丹後海に注ぐ。本実習では、芦生研究林内の溪流と森林の観察、由良川に沿って上流域（森林域）から和知、綾部、福知山を經由して河口域までの水質調査、魚類や水生昆虫などの水生生物調査、土地利用様式の調査を行う。森林域、里域、農地、都市などの陸域の環境が、由良川の水質、生物多様性、食物構造などにどのような影響を与えているかをじっくり観察し、森から海までの流域を複合したひとつの生態系として捉える視点を育成する。

実習の日程（予定）

8月5日（日） ガイダンス（京大北部キャンパス）

実習「芦生研究林、由良川源流域の観察・調査」（芦生泊）

8月6日（月） 実習「由良川上・中流域調査」（舞鶴泊）

8月7日（火） 実習「由良川下流・河口調査」（舞鶴泊）

8月8日（水） 実習「水生生物、水質分析」、調査結果の整理・解析（舞鶴泊）

8月9日（木） 調査結果のまとめ・発表、レポート作成

（註）天候の影響等で実習の内容は変更することがある。